



▲水しぶきを浴びながらもお守りのわらを抜き取る子どもたち

東和で「米川の水かぶり」 火伏せの祭りに響き渡る歓声

国指定重要無形民俗文化財「米川の水かぶり」が2月5日、米川市街地で行われました。この祭りは五日町地区に伝わる伝統の火伏せ行事で、毎年2月の初午の日に行われています。今年は小学生を含む地区内の男性約40人が参加。男衆は顔にすずを塗り、わら装束に身を包んだ姿で「ホーホー」と叫びながら、家々の前に用意された水を家に掛けて歩きました。詰め掛けた見物客や子どもたちは、屋根に上げると防火のお守りになると伝わるわらを、水しぶきを浴びて歓声を上げながら抜き取っていました。

石越で街頭犯罪抑止訓練 地域が一丸で犯罪を抑止

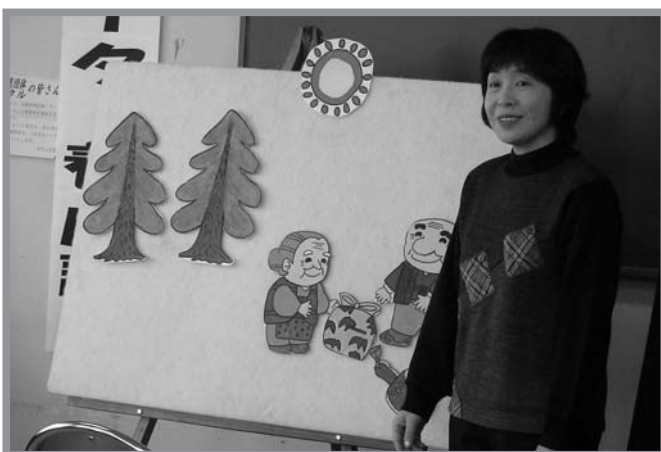
街頭犯罪抑止訓練（佐沼警察署、石越地区防犯協会主催）が2月10日、社会福祉協議会石越支所付近の市道で行われ、地域住民、関係者ら約100人が参加しました。訓練は下校途中の児童が不審者から声を掛けられて、車へ強引に乗せられそうになり、助けを求めて「子ども女性110番の家」に駆け込んで警察へ通報。駆け付けた警察官が事件現場を捜索中に、遺留品を取りに戻ってきた犯人を検挙するという内容で行われました。参加した人たちは、本当の事件さながらの訓練を真剣な表情で取り組んでいました。



▲駆け付けた警察官に不審者の特徴などを詳しく話す児童

迫で子育てサポーター養成研修会 子どもの笑顔をサポート

子育てサポーター養成研修会（子育てサポーター「てって」・社会福祉協議会迫支所主催）が2月19日、迫公民館で開催されました。核家族・少子化が進む中、地域における子育て中の親などを支えるサポーターを育成するために実施。講師に子育てサポーターリーダー千葉裕子さん（美里町）を迎え、「子育てサポーターの活動を通して感じていること」と題した講演や絵人形を使った劇の実演などが行われました。この研修会により、参加者の中から新たに5人が子育てサポーターの活動に加わりました。



▲絵人形を使って子どもたちが楽しめる劇の実演をする千葉さん

南方で子育て理解講座 妊婦の大変さを体で体験

子育て理解講座が2月6日、南方武道伝承館で開催されました。未来の親候補である中学生に正しい知識を持ってもらおうと、南方中、教育委員会南方事務所の主催で開催。南方中3年生83人が参加しました。講師に保健師、子育てサポートセンターの職員らを迎え、胎児に見立てた重しを肩から提げて妊婦体験をしたり、実際に乳児を抱いたりしました。また、パネルを使って受精から出産までの過程なども学習し、参加した生徒たちは「これから親となるための参考になりました」と感想を話していました。



▲胎児に見立てた重しを肩から提げて妊婦体験をする南方中学生



▲今年1年の福にあやかりと歓声を上げながら豆袋を拾う参加者

福を呼び込む落花生3千袋 横山不動尊で節分豆まき大会

福の神を呼び込もうと節分豆まき大会が2月4日、横山不動尊で催され、地域住民約200人が参加しました。境内には、運営委員ら関係者が「かみしも姿」で並び、太鼓の音に合わせて「鬼は外、福は内」と元気な掛け声で落花生3千袋（約100*）を勢いよくまきました。訪れた人たちは、一つでも多くの福にあやかりと、歓声を上げながら豆袋を拾っていました。また、今年は豆袋の中に当たりの福豆も混ぜてまかれ、拾った人には「福」「家庭」「円満」の焼印が刻まれた一合升が贈られました。

登米でたこ揚げ大会 手作りが寒風に乗って

毎年恒例の「第44回とよま凧あげ大会」が2月4日、北上川右岸堤防で開催されました。当日は小雪のちらつく肌寒い日でしたが、大会には幼児から大人まで約250人が参加。北上川に向かって吹きたこ揚げには絶好の風を受け、参加者は手作りのたこを高く揚げて競い合いました。また、会場では手作りのたこの審査も行われ、幼児・小学生低学年・同中学年・同高学年・中学生以上の一般の部に、「微笑ましいで賞」「アイデア賞」「デザイン賞」「高くあがったで賞」がそれぞれ各部門1人に贈られました。



▲雄大な北上川の上空に手作りが勢いよく舞い上がりました